

令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定等に係る事業)

令和6年1月●日

協議会名: 大月市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域公共交通計画策定事業

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③計画等の策定等に向けた方針
<p>①地域公共交通の利用実態の把握 内容: 令和2年に実施したバスOD調査結果より、利用者層(シルバー、スクール、一般)と平均乗車人員を路線別に把握した。 結果: 約2週間のOD調査の結果、シルバー(高齢者)とスクール(児童・生徒)の利用率が約7割、一般の利用者が約3割の結果となり、平均乗車人員は5.5人/本で、3人/本未満の路線が2路線あった。</p> <p>②住民・利用者の意向調査 内容: バス利用者の聞き取りアンケート調査、デマンドタクシー実証実験対象地区(梁川町及び猿橋町小篠地区住民)への住民アンケート調査、交通事業者等へのヒアリング調査を実施した。なお、全市民に対するアンケート調査を実施中。 結果: 梁川町及び猿橋町小篠地区住民(286人から回収)のアンケート調査結果から、自家用車による市内移動が約8割と多く、バス利用率は1%程度と低い。バス利用者の多くは免許を有しない高齢者が多く、現状ではバスへの利用転換が難しい状況がある。</p> <p>③課題分析及び目標検討 内容: バス利用者の減少による地域の足の確保が課題であり、今後の少子高齢化社会に対応できる「少子高齢化社会においても誰もが安心して移動できる公共交通の実現」を基本方針に設定 結果: 「バス利用者数(平均乗車人員)の維持」、「新たな交通手段の検討」などを目標に、平均乗車人員の低いバス路線のデマンドタクシーへの転換方策を掲げた。</p> <p>④住民説明会の実施及び意見募集 内容: パブリックコメントを実施して住民の意見を募集(令和6年1月中に実施予定) 結果: 意見募集後に記載予定</p>	<p>A</p> <p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施される見込み。</p>	<p>【計画策定の時期】 令和6年2月に策定予定</p> <p>【計画の名称】 大月市地域公共交通計画</p> <p>【基本方針】 少子高齢化社会においても誰もが安心して移動できる公共交通の実現</p> <p>【基本目標】 1. バス運行サービスの維持・確保 2. 新たな運行方式の検討・導入 3. 公共交通の運用多角化等の検討</p>

令和5年度 大月市地域公共交通会議（山梨県大月市） （地域公共交通計画策定事業）

公共交通の概況・地域の特徴

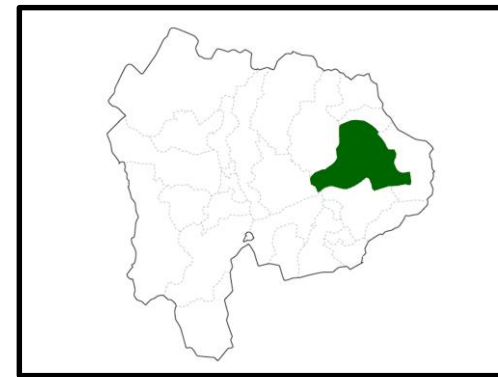
- 大月市の公共交通は、鉄道、路線バス、乗合タクシーが運行されている。鉄道はJR中央本線が東西に伸びて大月駅をはじめ市内に6駅を有し、大月駅からは富士急行線が富士吉田方面に連絡している。また、路線バスは1事業者が15路線57系統を運行し、市内各町を連絡している。乗合タクシーは2事業者が運行している。
- 公共交通の利用者数はコロナ禍の影響もあって、令和3年度は令和元年度に比べて2～4割減少し、人口減少・少子高齢化の影響もあって利用者の回復が思わしくない状況にある。
- 市の中心地（大月町、猿橋町）に市全体の人口の約45%が集中し、中心地から外れる町の人口が少ない。

地域の抱える問題点・計画策定調査の必要性

- 市内の免許保有率（令和4年度）は高く（64歳未満：93%、65～74歳：85%、75歳以上：41%）、免許返納率は75歳以上で4%、平均返納年齢は82歳と免許を保有して自家用車で移動する市民が多い。
- 路線バスの平均乗車人員は5.5人/本と多くない上、3人/本未満の路線も存在し、人口減少・少子高齢化の進展下において路線バスへの補助金は約3倍（令和4年/平成17年）に増加し、市の財政を圧迫している状況にある。
- このため、現在の利用状況や利用者・交通事業者の意向等を把握した上で、持続可能な本市の公共交通を維持・確保していくことが求められ、これに必要な施策検討を実施するために計画調査を実施したものである。なお、計画策定に先立ち、デマンドタクシーの実証実験を実施している（2地区で令和5年7月～9月の3ヶ月間）。

アピールポイント

- 路線バスの利用実態について、令和2年に実施されたバスOD調査結果（2週間調査）を分析し、路線別の平均乗車人員の把握や路線毎の格差などに加えて、利用者層（シルバー、スクール、一般）の実態を詳細に分析することで、今後のバス路線の維持・検討や新たな交通手段への転換の基礎資料を得ることができた。
- 交通事業者（バス、乗合タクシー）に加えて社会福祉協議会、介護タクシー事業者への幅広いヒアリング調査を実施することで、超高齢化社会に突入している本市において、自らの足で公共交通を利用できない（介護等の支援を必要とする）層への対応方法などを確認することができ、公共交通の確保だけでなく、公共交通を利用できない住民への対応方法を検討することができた。
- 実際のバス利用者の方々への聞き取りアンケート調査を実施したことで、バス利用の目的や時間帯、望まれる頻度など、今後のバス運行サービスの改善方策検討への基礎資料を得ることができた。
- 2地区（梁川町・猿橋町小篠地区、初狩町藤沢・丸田地区）でのデマンドタクシー実証実験を行ったことで、現時点における需要量やニーズを確認できた。なお、現状では決して利用者は多くなく、上記の問題点で指摘したとおり、自ら自家用車を運転して市内移動が可能な住民が多く存在するものの、5年後や10年後の将来に向けて免許返納を行う住民も増加していくことから、潜在的には地域ニーズがあることが確認できた。



面積	51.1 km ²
人口（R5.4.1時点）	21,967人
15歳未満	1,543人
65歳以上	9,276人
高齢化率	42.2%

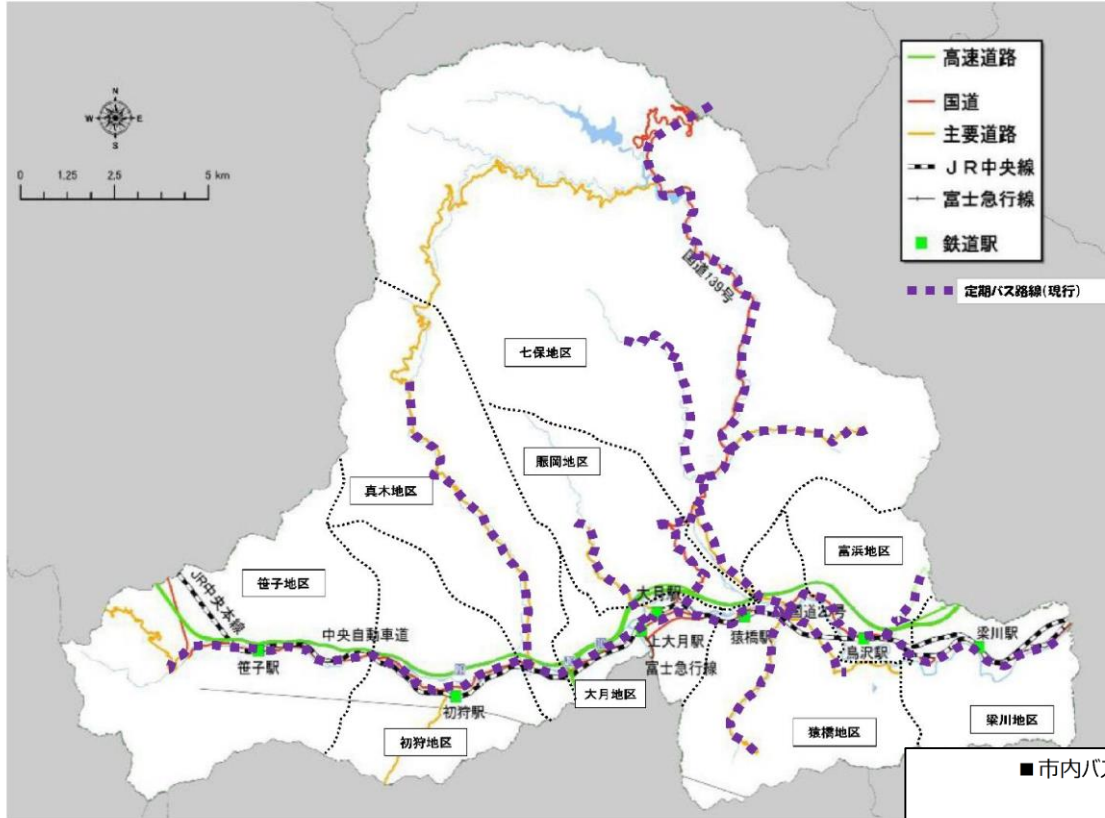
協議会開催状況

令和5年度の開催状況（予定含む）

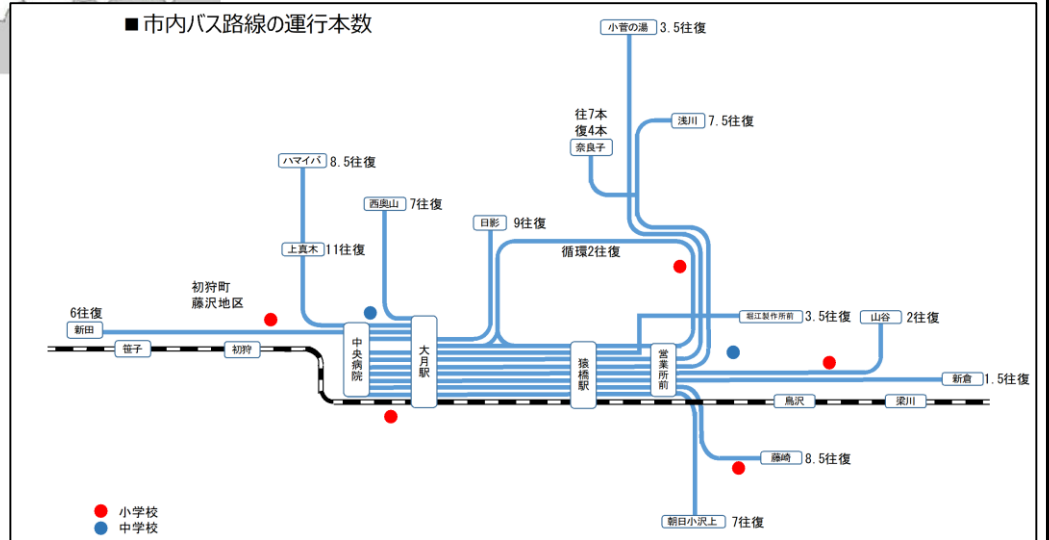
- ・第1回（令和5年5月10日）
計画策定業務の委託について
※書面開催
- ・第2回（令和5年6月22日）
計画策定業務について
- ・第3回（令和5年10月19日）
中間報告（現状把握、意見聴取結果、課題及び目標設定等）
- ・第4回（令和5年12月11日）
計画素案について ※書面開催
- ・第5回（令和6年2月予定）
大月市地域公共交通計画策定

【地域の交通体系図・バス路線網】

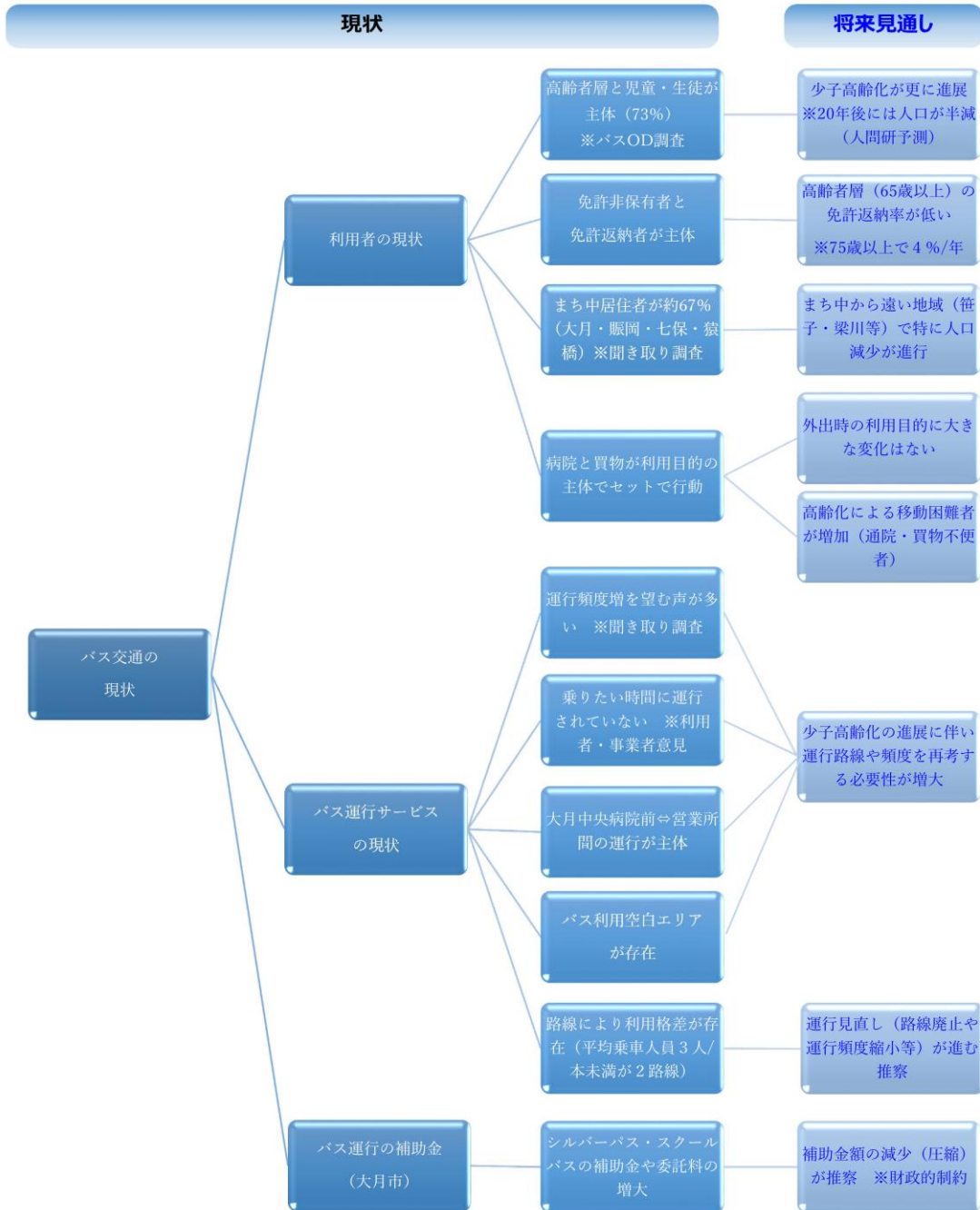
■市内の鉄道及びバス路線網



■市内バス路線の運行本数



【バス交通の現状及び将来見通しからみた自動車系公共交通の方向性】



公共交通の位置づけ[上位関連計画]

■ 持続可能な生活交通の維持と確保

- ⇒ 路線バスの利用促進
- ⇒ 関係機関や利用者等と連携・調整
- ⇒ デマンド型輸送を含めた柔軟に対応できる輸送サービスの検討 (バス路線に代わる新たな公共交通システム)

自動車系公共交通の方向性[目標]

■ 地域の足の維持・確保に向けた取り組み

- ⇒ 地域の足をなくさないための運動によるバス利用促進

■ バス路線・運行サービスのあり方の検討

- ⇒ 再考基準の検討 (運行に必要な最低平均乗車人員の基準など)

■ 新たな運行方式の導入検討

- ⇒ デマンドタクシー実証実験結果を踏まえ、導入の可否基準及び方法等の具体的な検討実施
- ※ タクシー利用の障壁改善を含む (高価・贅沢といった風潮に対する意識改革)

■ 公共交通の運用多角化の検討

- ⇒ 貨客混在による収益構造の改善策の検討
- ⇒ 移動困難者の支援 (移動販売、通院・買物等の同行支援など福祉的観点からの施策検討)

【大月市地域公共交通計画の目標設定及び計画案】

■ 基本方針を踏まえた目標設定及び目標を達成するための具体的な施策等の実施に向けた計画案 【計画期間：R6年～R10年の5年間】

【基本方針：少子高齢化社会においても誰もが安心して移動できる公共交通の実現】

基本方針を踏まえた目標	目標を達成するための具体的な施策（事業内容）	事業実施主体	達成状況の評価・検討方法等 （評価値の設定：現況値と将来目標値など）	備考（実施スケジュール含む）
1. バス運行サービスの維持・確保 ①一般利用者数の増加	①一般利用者増に向けた施策 ・広報活動の実施 ⇒バス利用促進デーの制定 ⇒各町内におけるバス運行の減便や廃止等の危機意識の啓蒙 ・バス時刻表のHP整備 ⇒鉄道との連動、バス同士の乗り継ぎなどの利用者に配慮した時刻表検索機能の作成	・大月市と富士急バスの協働 ・大月市と富士急バスの協働	・バス利用者数（平均乗車人員）の維持 現況値：5.5人/路線（R5年） 将来値：5.5人/路線（R10年） ・アプリアクセス数 現況値：なし（R5年） 将来値：漸増（R10年）	・バスOD調査の実施（R6年とR8年に実施）し、平均乗車人員データから検証 ・R7年度までにHP（orアプリ）を構築し、以降、毎年評価を実施
	②観光利用者数の増加	・富士急バスと大月市観光協会の協働 ・民間事業者（or商工会議所）	・SNS投稿数 現況値：なし（R5年） 将来値：漸増（R10年） ・シャワールーム整備 現況値：0件（R5年） 将来値：1件（R10年）	・R7年度までに構築し、以降、毎年評価 ・R6年度に現状&ニーズ把握、以降でFS調査&参入可能性を検討 ※バス利用向上への貢献が必須
	③シルバー＆スクールの補助金・委託料の行政経費の削減	③補助金＆委託料削減に向けた施策 ・後期高齢者のバス利用促進 ⇒免許返納によるバス利用への転換促進 ・外出可能な高齢者の効果測定	・大月市 ・大月市	・クロスセクター効果の算出（廃止の場合）：運行経費（財政支出＋運賃収入）と分野別代替費用（医療・商業・福祉・財政等）との比較
2. 新たな運行方式の検討・導入 ①デマンドタクシー（DT）の導入	①導入に向けた基準づくり ・バス路線（サービス水準）の運行見直し基準の作成 ⇒事業者側からみた減便・廃止を検討するための平均乗車人員の下限値設定 ・デマンドタクシーの運行経費と費用対効果検討（対バス路線） ⇒バス路線維持とデマンドタクシー運行の経費比較 ・デマンドタクシー運行のニーズ把握 ⇒R6年1月～3月実施予定の実証実験中に将来的なニーズを把握 ・上記を踏まえた具体的な導入基準の設定	・大月市、富士急バスの両方で勉強会を立ち上げて検討を実施（もしくは現協議会組織を活用） ・大月市 ・大月市 ・大月市	・上記のバスOD調査の結果ならびに下記のクロスセクター効果を考慮した上で、採算検討するための下限値を設定 ・クロスセクター効果の算出（DT代替案実施）：運行経費（財政支出＋運賃収入）と分野別代替費用（医療・商業・福祉・財政等）との比較 ・R6年1月～3月実施予定の実証実験中に将来的なニーズを把握するための調査票を設計 ・上記の各検討を踏まえて、導入基準を設定（協議会での審議を実施）	・R7年度からの導入計画について、次頁以降に記載
	②新たな運行方式の検討	②ライドシェア、AIを活用したバスシステムの導入に向けた検討 ・ライドシェアの法制度や導入事例の検討ならびに導入可能性の検討 ⇒事例検討ならびに大月市で導入するに際しての各種課題 ⇒タクシー事業者の意向把握 ・AIバス、オンデマンドバス等の新たな運行システムの検討ならびに導入可能性の検討 ⇒導入バス事業者の事例研究（システム・導入経費・効果等） ⇒市内バス事業者の意向把握（AI化への意向）	・今後の検討の必要性について、協議会にて協議を実施	・現行の路線バスの効率化を目的に、今後5年間の計画期間中に、デマンドタクシーが難しい場合の代替手段としての導入の可能性を検討し、導入の可否を結論づける。
3. 公共交通の運用多角化の検討 ①バス事業の収益構造改善策の検討	①貨客混在の可能性検討 ・現行法制度からみた混在輸送の可能性及びニーズ把握 ・上記を踏まえた導入可能性の検討及び結論づけ	・今後の検討の必要性について、協議会にて協議を実施	・運賃以外の収入増によるバス路線の維持に向けた方策について、今後5年間の計画期間中に具体策を検討し、実施の可否を結論づける。	・計画期間中（R6～R10年度）で検討
	②移動困難者の支援	②各種支援方策の検討 ・移動販売、通院・買物等の同行支援など福祉的観点からの施策検討 ⇒現状整理及びニーズを把握 ⇒上記を踏まえた具体的な支援に向けた方策の検討	・福祉関連部局において、協議を実施	・移動販売：現状把握ならびにニーズや課題を踏まえた上で、支援拡大に必要な施策を検討 ・同行支援：介護事業者に必要な支援策（補助金等を含む）を検討

注）網掛けは、具体的な検討は福祉関連部局に委ねるもので、記載内容は本計画において事業者等のニーズを踏まえた想定案。

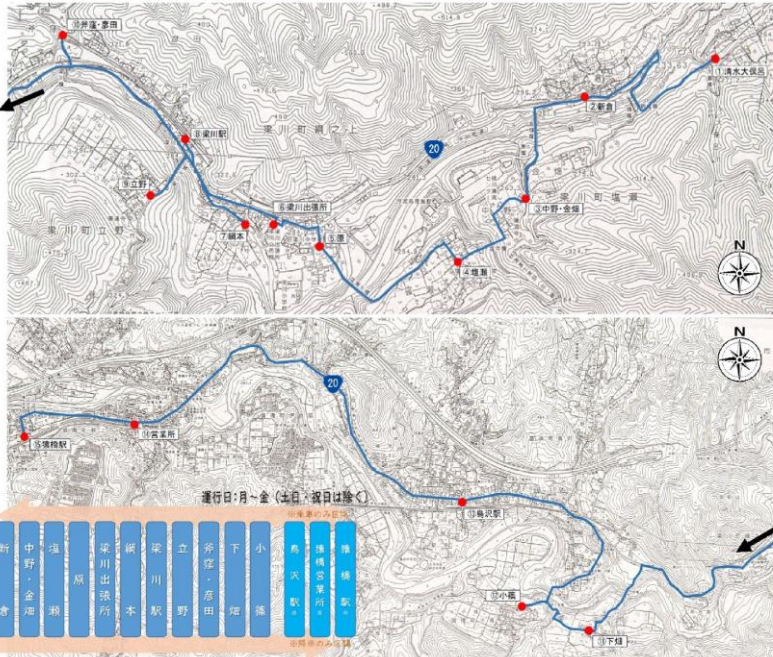
【デマンドタクシー導入計画・評価方法等】

①事業概要

令和5年7月～9月の3カ月間(実施)と令和6年1月から再度実施予定されているデマンドタクシー実証実験区間(梁川町+猿橋町小篠地区)において、路線バス(新倉線)の代替手段として運行を計画する。

※実証実験中は新倉線も並行して運行。

■デマンドタクシーの運行路線



運行日:月～金(土日・祝日は除く)

停留所名	1便	3便	5便	停留所名	2便	4便	6便
特設 大月方面から	—	11:20 営業所 乗換	16:12 猿橋駅 乗換	① 清水大保呂	7:20	12:10	17:10
⑥ 猿橋駅	6:30	11:30	16:30	② 新倉	7:23	12:13	17:13
⑤ 営業所	6:33	11:33	16:33	③ 中野・金畑	7:25	12:15	17:15
④ 鳥沢駅	6:39	11:39	16:39	④ 塩瀬	7:27	12:17	17:17
③ 小篠	6:43	11:43	16:43	⑤ 原	7:29	12:19	17:19
② 下畑	6:45	11:45	16:45	⑥ 出張所	7:30	12:20	17:20
① 斧窪・彦田	6:50	11:50	16:50	⑦ 綱本	7:32	12:22	17:22
⑦ 立野	6:52	11:52	16:52	⑧ 梁川駅	7:34	12:24	17:24
⑧ 梁川駅	6:54	11:54	16:54	⑨ 立野	7:36	12:26	17:26
⑨ 綱本	6:56	11:56	16:56	⑩ 斧窪・彦田	7:38	12:28	17:28
⑩ 出張所	6:58	11:58	16:58	⑪ 下畑	7:43	12:33	17:33
⑪ 原	6:59	11:59	16:59	⑫ 小篠	7:45	12:35	17:35
⑫ 塩瀬	7:01	12:01	17:01	⑬ 鳥沢駅	7:49	12:39	17:39
⑬ 中野・金畑	7:03	12:03	17:03	⑭ 営業所	7:55	12:45	17:45
⑭ 新倉	7:05	12:05	17:05	⑮ 猿橋駅	7:58	12:48	17:48
⑮ 清水大保呂	7:08	12:08	17:08	特設 大月方面へ	8:13 営業所 乗換	12:54 営業所 乗換	17:04 営業所 乗換

①から⑮の区間内の乗降はできません。

②実施主体

- ・大月市
- ・タクシー事業者(未定)
- ・地域

③実施時期

■デマンドタクシーの導入に向けたスケジュール(案)

事業	実施項目	実施時期(年度)			
		令和6年	令和7年	令和8年	令和9年
デマンドタクシーの運行サービスの導入	検討、協議・調整	→			
	実施		→	→	→
	フィーダー補助の活用			→	→

■令和5年度のデマンドタクシー実証実験時の実施主体の概要

路線名	デマンドタクシー
地区	梁川町+小篠地区(清水大保呂、中野・金畑、新倉、塩瀬、原、西村、綱本、斧窪、彦田、立野、下畑、小篠)
事業許可区分	一般乗合(区域運行)
運行態様	予約制・乗合
実施主体	大月市(交通事業者へ委託)
補助事業の活用	なし

④実施(導入)に際しての目標・効果とその評価手法について

【計画目標の達成状況の評価するための評価指標】

デマンドタクシー導入後の目標値を以下に示します。

■評価指標と目標値等

評価指標	現状値	目標値	備考
1日あたり平均乗車人員	0.3人/日	1.0人/日	※1
運行満足度の評価	—	60%	※2
外出機会の増加(週数回以上)	67%	70%	※3
デマンドタクシーの乗り方教室開催回数	—	毎年2回開催	※4
公的資金投入額(委託料)	93万円	93万円	※5

※1:現状値は3ヶ月間(平日運行62日間)の実証実験結果

※2:利用者へのアンケートを実施して満足度を評価

※3:現状値は実証実験前の梁川町+小篠地区住民へのアンケート調査結果

※4:梁川町+小篠地区の住民に対して、予約方法等の乗り方について説明会を開催

※5:現状値は1.5万円/台・日の委託料×62日間

■評価スケジュール

項目		(年度)			
		R7年	R8年	R9年	R10年
関連調査 評価方法	利用者数実績・整理	○	○	○	○
	デマンドタクシー利用者アンケート調査			○	
	対象地区住民アンケート結果			○	
	乗り方教室開催	○	○	○	○
事業実施状況評価		○	○	○	○
目標達成度の評価		○	○	○	○
計画・目標値の見直し※					○
大月市地域公共交通会議(法定協議会)		○	○	○	○

※必要に応じて適宜計画・目標値の見直しを実施